

SEIKO

2014年度（2015年3月期）  
決算説明会

2015年5月14日

セイコーホールディングス株式会社

# 決算及び見通しの説明

- (1) 第5次中期経営計画進捗状況
- (2) 2014年度決算内容
- (3) 2015年度の見通し

# (1) 第5次中期経営計画進捗状況

# 第5次中期経営計画 進捗状況 -連結損益-

SEIKO

(億円)	2013年度 実績	2013年度 中期計画	2014年度 実績	2014年度 中期計画	増減	2015年度 中期計画
売上高	3,082	3,000	<b>2,934</b>	2,900	+34	3,200
営業利益	140	100	<b>116</b>	140	△23	200
%	4.5%	3.3%	<b>4.0%</b>	4.8%	△0.8%	6.3%
経常利益	101	60	<b>123</b>	100	+23	160
%	3.3%	2.0%	<b>4.2%</b>	3.4%	+0.8%	5.0%
当期純利益	74	50	<b>217</b>	80	+137	120
%	2.4%	1.7%	<b>7.4%</b>	2.8%	+4.6%	3.8%

# 第5次中期経営計画 進捗状況 -事業別損益-

SEIKO

(億円)		2013年度 実績	2013年度 中期計画	2014年度 実績	2014年度 中期計画	増減	2015年度 中期計画
ウォッチ 事業	売上高	1,507	1,350	<b>1,590</b>	1,400	<b>+190</b>	1,500
	営業利益	122	100	<b>123</b>	110	<b>+13</b>	130
電子デバイス 事業	売上高	930	950	<b>961</b>	1,050	<b>△88</b>	1,150
	営業利益	13	20	<b>18</b>	45	<b>△26</b>	70
システムソリューション 事業	売上高	228	280	<b>211</b>	300	<b>△88</b>	350
	営業利益	3	10	<b>3</b>	15	<b>△11</b>	20
その他	売上高	513	480	<b>264</b>	250	<b>+14</b>	270
	営業利益	7	10	<b>6</b>	5	<b>+1</b>	10
連結計	売上高	3,082	3,000	<b>2,934</b>	2,900	<b>+34</b>	3,200
	営業利益	140	100	<b>116</b>	140	<b>△23</b>	200

# 第5次中期経営計画 進捗状況 -連結貸借対照表-

(億円)	2013年度 実績	2013年度 中期計画	2014年度 実績	2014年度 中期計画	増減	2015年度 中期計画
有利子負債	2,008	2,020	<b>1,372</b>	1,950	△577	1,750
純資産	647	450	<b>925</b>	525	+400	630
自己資本比率	17.1%	12.3%	<b>27.1%</b>	14.3%	+12.8%	17.6%
ネットD/Eレシオ	2.4	3.6	<b>1.0</b>	2.9	△1.9	2.1

## (2) 2014年度 決算内容

# 2014年度 損益 - 通期 (4月-3月) -

SEIKO

(億円)	2013年度 (通期)	2014年度 (通期)	増減		
			増減額	増減比	
売上高	3,082	2,934	△148	△4.8%	
売上総利益	1,035	1,042	+7	+0.7%	
営業利益	140	116	△23	△16.7%	
%	4.5%	4.0%	△0.5%	-	
経常利益	101	123	+22	+21.7%	
%	3.3%	4.2%	+0.9%	-	
税前利益	87	246	+159	+181.9%	
当期純利益	74	217	+143	+193.4%	
%	2.4%	7.4%	+5.0%	-	
換算 レート	USD	100.2	109.8	+9.6	+9.6%
	EUR	134.3	138.6	+4.3	+3.2%

<b>売上高： 対前年</b>	<b>△148</b>
為替による影響	約+130
眼鏡事業	
持分法会社化の影響	△253

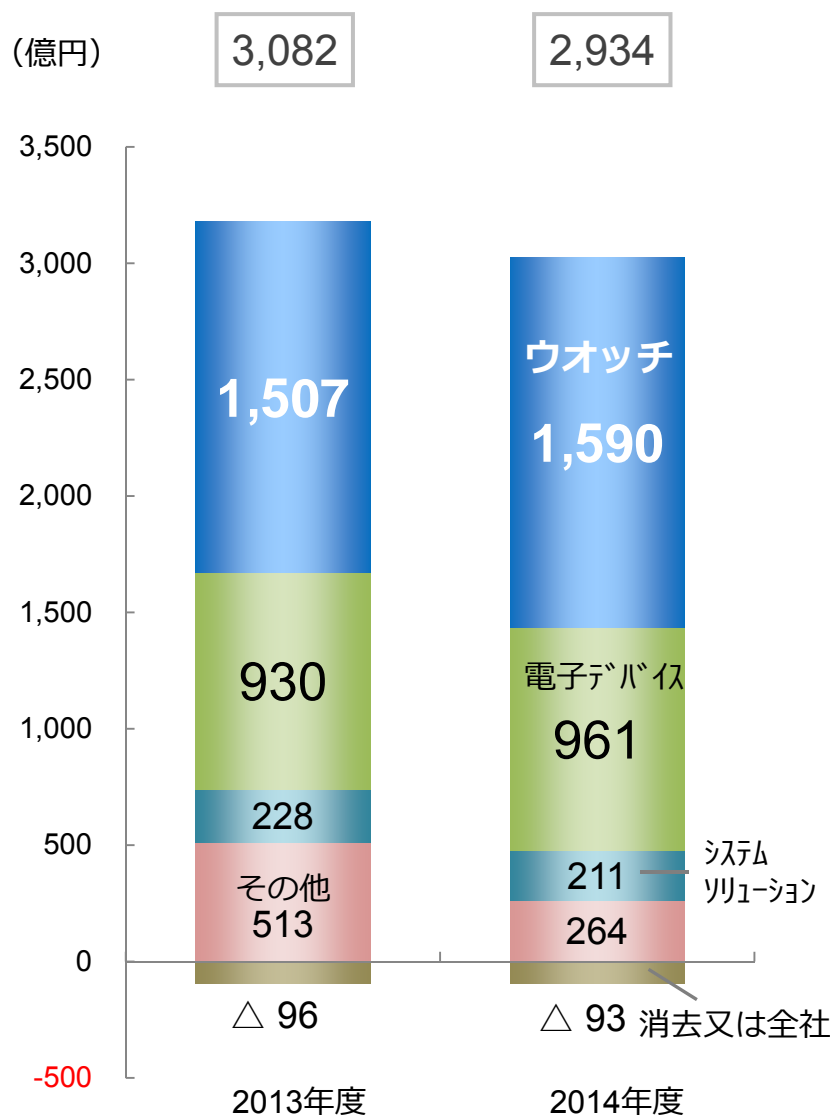
<b>営業利益： 対前年</b>	<b>△23</b>
売上総利益増加	+ 7
経費増加(広告宣伝費等)	△30

<b>経常利益： 対前年</b>	<b>+22</b>
営業利益減少	△23
支払利息減少	+ 9
為替差益改善	+ 8
持分法投資損益改善	+17
その他営業外損益	+ 9

<b>特別損益内容：</b>	
特別利益	170
固定資産売却益	91
投資有価証券売却益	77
関係会社貸倒引当金戻入額	1
特別損失	△47
事業撤退損	△ 6
減損損失	△35
固定資産除却損	△ 5

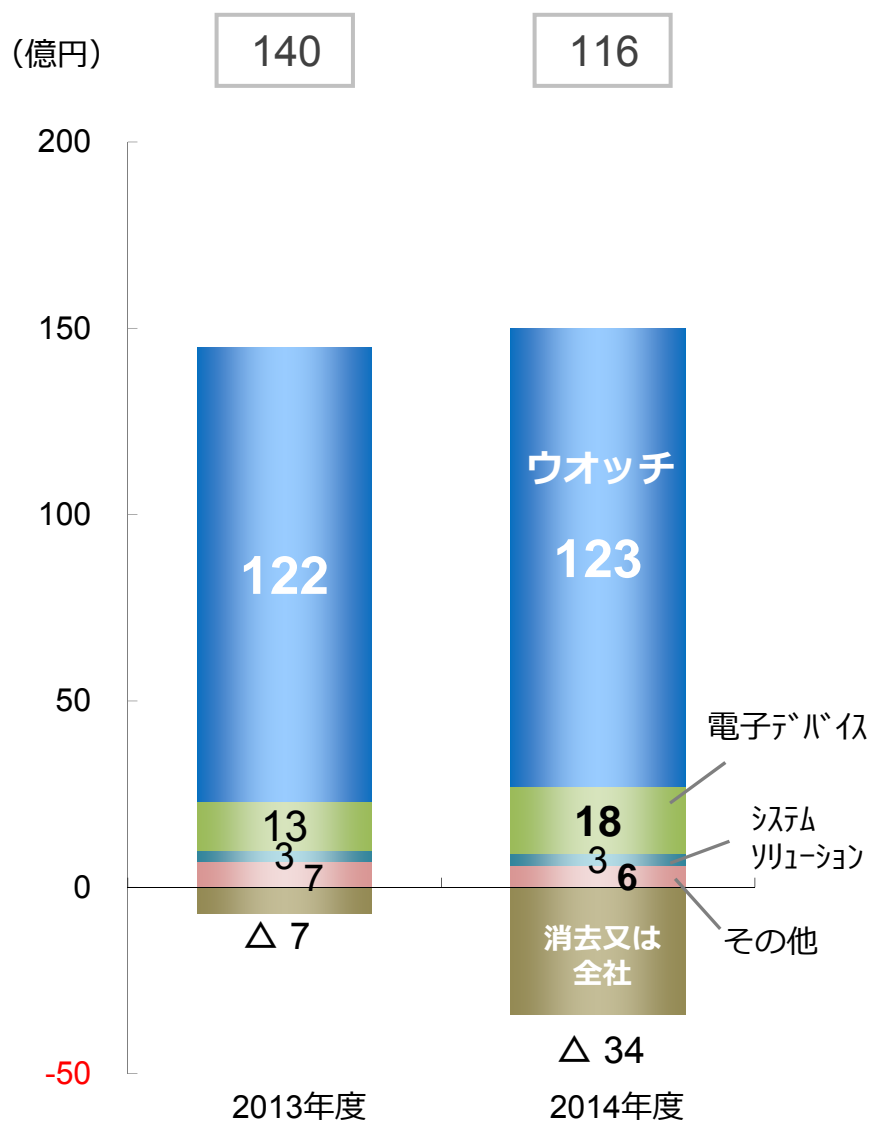


# 事業別売上高 - 通期 (4月-3月) -



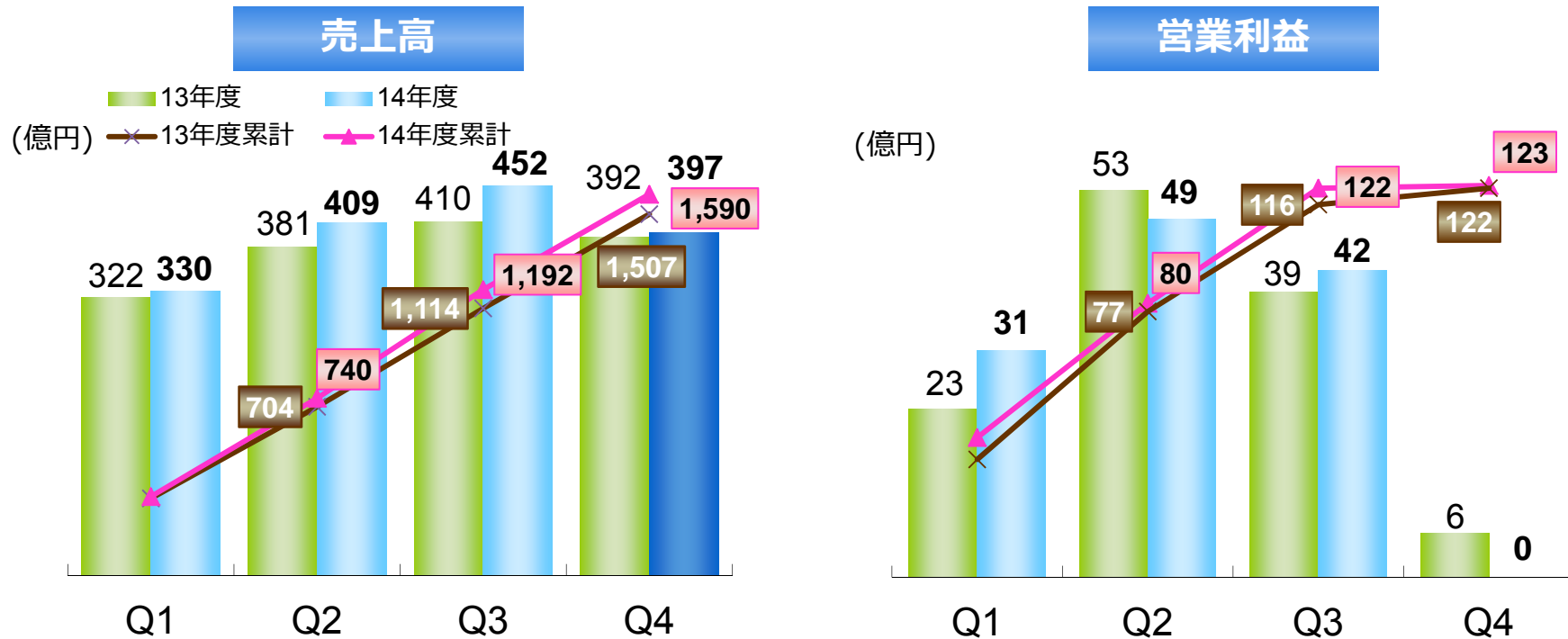
(億円)	売上高		
	2013年度 (通期)	2014年度 (通期)	増減
ウオッチ事業	1,507	1,590	+83
電子デバイス事業	930	961	+30
システムソリューション事業	228	211	△17
計	2,666	2,763	+97
その他	513	264	△248
消去又は全社	△96	△93	+3
連結計	3,082	2,934	△148

# 事業別営業利益 – 通期 (4月-3月) –



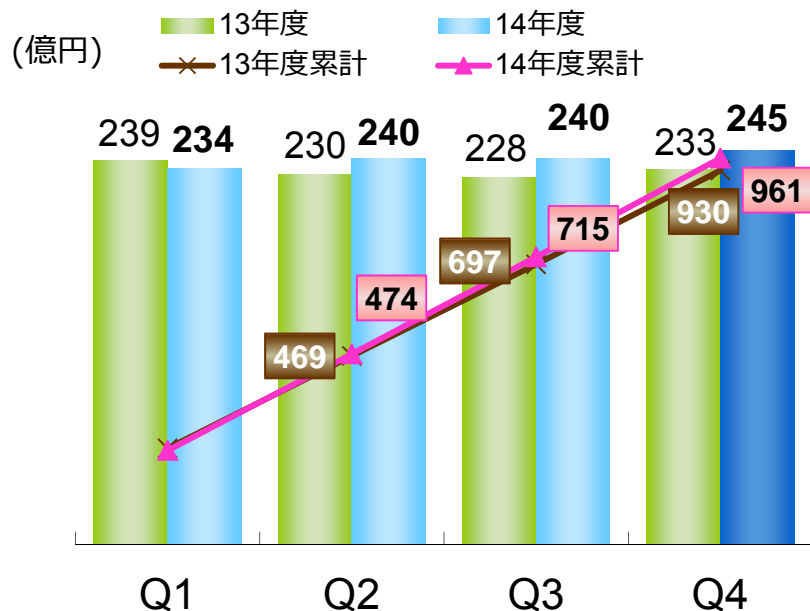
(億円)	営業利益		
	2013年度 (通期)	2014年度 (通期)	増減
ウオッチ事業	122	123	+0
電子デバイス事業	13	18	+5
システムソリューション事業	3	3	△0
計	139	145	+5
その他	7	6	△1
消去又は全社	△7	△34	△27
連結計	140	116	△23

# セグメント情報

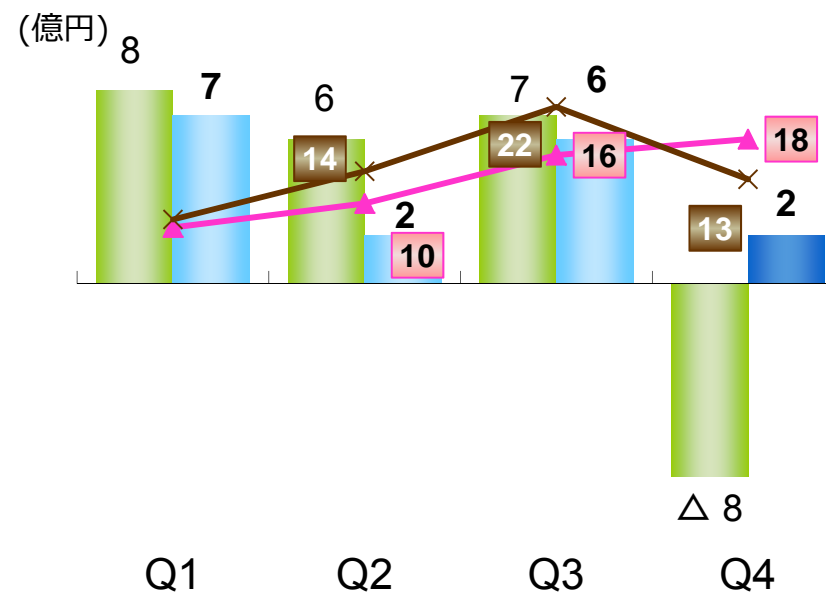


- ・ 完成品ウォッチ：外国人旅行者の増加などが下支え要因となり、売上を伸ばした。  
 (国内) メンズウォッチでは9月に第2世代モデルの発売を開始した「アストロン」や「ブライツ」、「メカニカル」が牽引し、レディースウォッチは「ルキア」が好調。上期、消費増税の反動で伸び悩んだグランドセイコーも下期からは回復。
- ・ 完成品ウォッチ：国内同様「アストロン」が好調。2014年度からグローバル展開を開始した「プロスペックス」やNYのセイコーブティックオープンなどにより欧米で売上を伸ばし、アジアでも好調な台湾を中心に順調に推移した。
- ・ ムーブメント：標準ムーブメントは伸び悩んだものの、高付加価値ムーブメントは堅調。

## 売上高

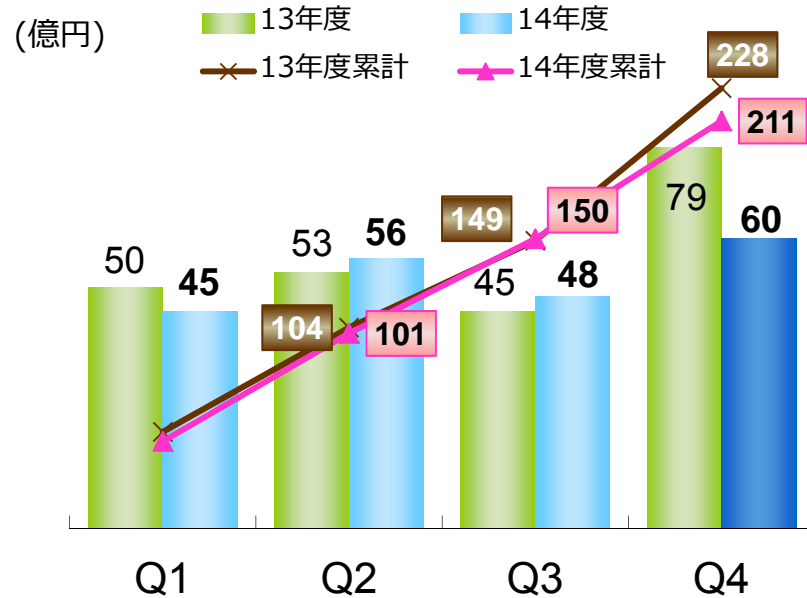


## 営業利益

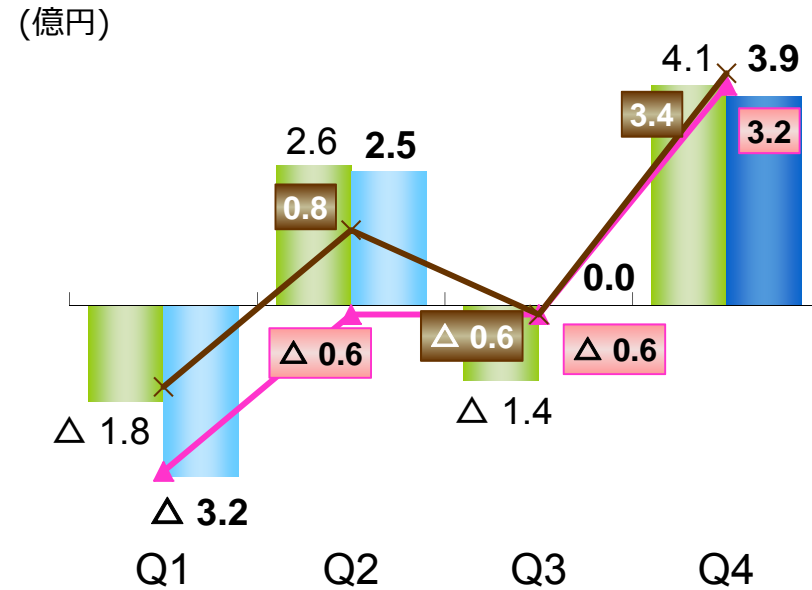


- ・デバイス : 半導体は車載向けやスマートフォン向け製品を中心に売上を伸ばした。
- ・メカトロニクス : ハードディスクコンポーネントは徐々に回復の兆しは見えるものの、力強い回復は見られず、一方のカメラシャッターは市場の低迷が続いている。
- ・その他 : インクジェットプリントヘッドは中国・新興国市場向けが鈍化したものの国内や欧米向けの売上は拡大した。  
 小型サーマルプリンタは流通決済端末市場を中心に好調に推移した。

## 売上高

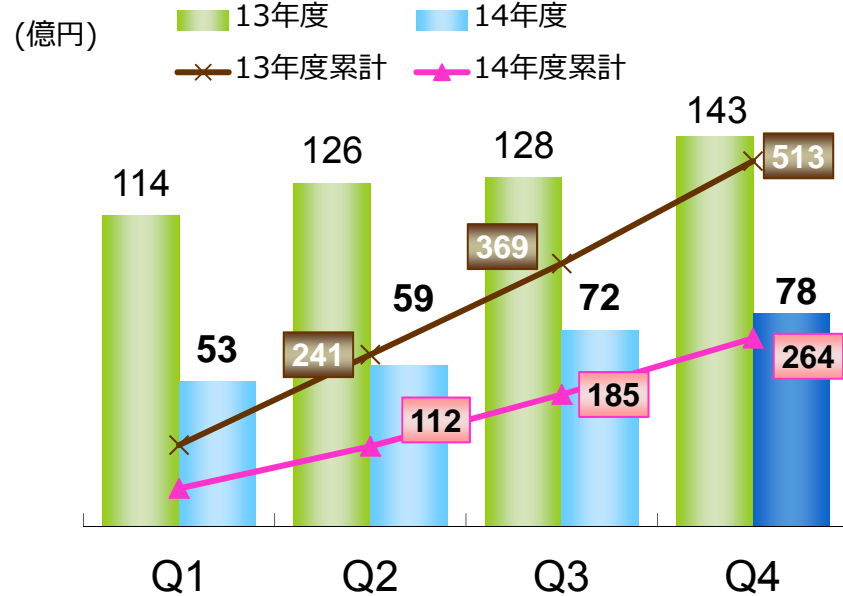


## 営業利益

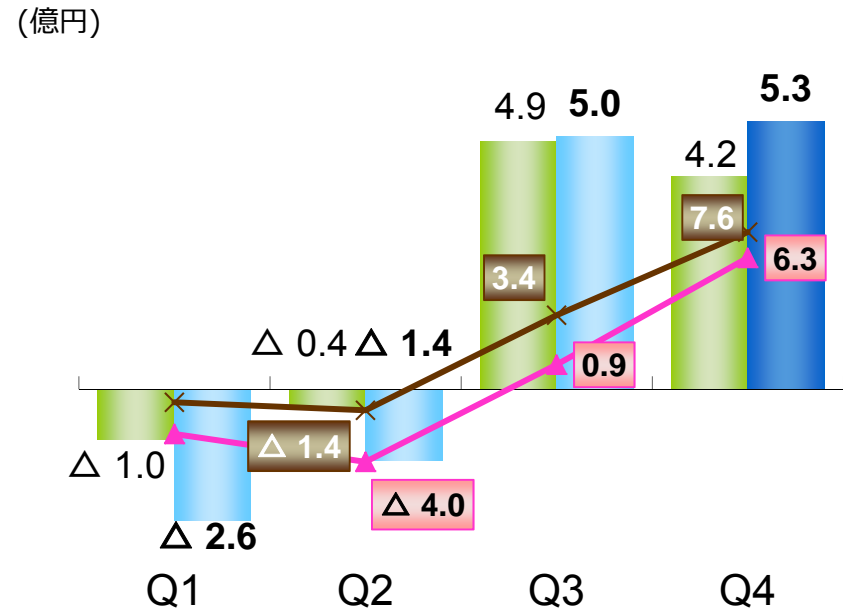


- ・当社が運営するモバイル決済中継センターを中心にデータサービス事業は堅調に推移。
- ・モバイル端末関連事業はソフトバンク向け体組成計の売上が増加したが、円安の影響等により、主要顧客の事業状況が変化し、計画していた商品の販売が伸び悩んだ。
- ・外食向けのソリューションは、業界全体の落ち込みの影響により前年並みの売上となった。

売上高



営業利益



- ・ クロック : 前半の消費増税の影響や円安によるコストの増加があったものの、ヒット商品等により、通期で黒字化を達成。
- ・ その他 : 和光は引続き本館のウォッチが好調。アストロンやグランドセイコーの他、輸入ウォッチも大きく売上を伸ばした。

\* 眼鏡事業の連結除外による影響額

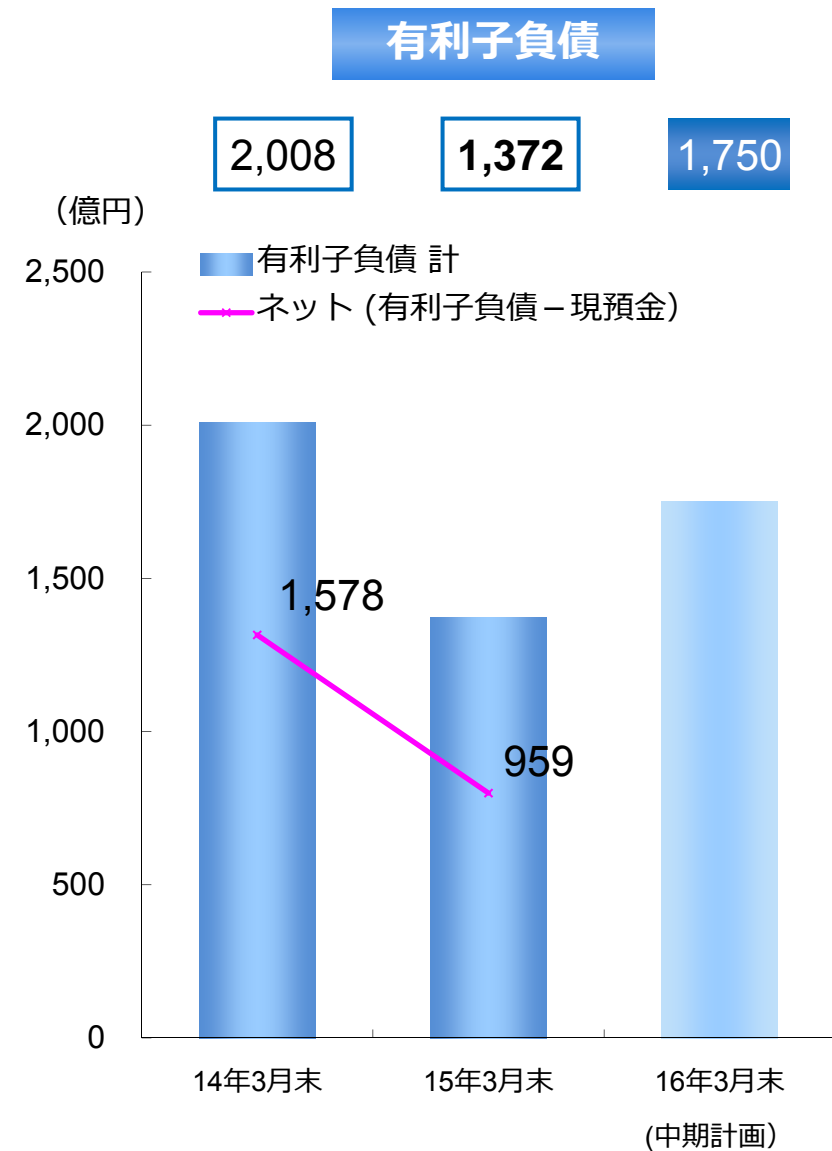
売上高	Q4期間) 70億円	通期) 253億円
営業利益	Q4期間) 3.0億円	通期) 8.2億円

# 2015年3月末 貸借対照表

(億円)	2014年 3月末 (a)	2015年 3月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	570	629	+58
有利子負債	2,008	1,372	△636

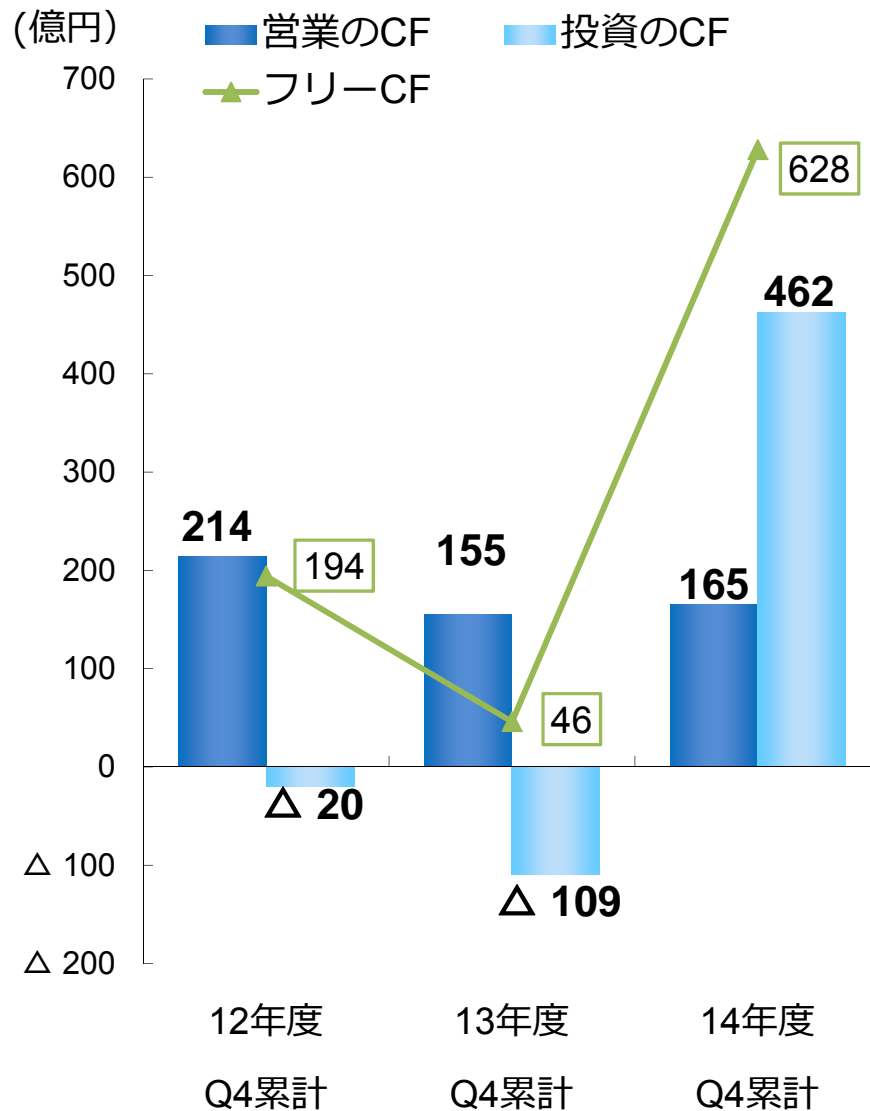
純資産	647	925	+278
総資産	3,667	3,337	△330

自己資本比率	17.1%	27.1%	+10.0%
ネットD/E レシオ	2.4	1.0	△1.4
従業員数	13,439	13,565	+126





# キャッシュフロー



	12年度 Q4累計	13年度 Q4累計	14年度 Q4累計
税引前当期純利益	80	87	246
減価償却費	128	122	108
その他	5	△54	△190
<b>営業のキャッシュフロー</b>	<b>214</b>	<b>155</b>	<b>165</b>
有形固定資産の取得	△197	△110	△93
その他	177	0	556
<b>投資のキャッシュフロー</b>	<b>△20</b>	<b>△109</b>	<b>462</b>
借入金の借入・返済収支	△326	△24	△629
その他	33	△10	△38
<b>財務のキャッシュフロー</b>	<b>△292</b>	<b>△35</b>	<b>△668</b>
換算差額等	13	△13	17
現金及び現金同等物	427	425	402
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>194</b>	<b>46</b>	<b>628</b>

## (3) 2015年度の見通し

取組

- ◆ 売上高 3,200億円の達成  
ウォッチ事業のさらなる成長を核に、中期経営計画最終年度の売上高達成を目指す
- ◆ 収益性の改善  
成長事業の拡大と不採算事業の速やかな問題解決により収益性の改善を図る
- ◆ 財務体質のさらなる改善  
有利子負債の一層の削減と自己資本比率の改善を目指す
- ◆ 安定配当の継続

# 2015年度 見通し - 連結損益 -

(億円)	2014年度 実績	2015年度		対前年 増減	2015年度 中期計画
		上期	通期		
売上高	2,934	1,400	3,200	+265	3,200
営業利益	116	65	160	+43	200
%	4.0%	4.6%	5.0%	+1.0%	6.3%
経常利益	123	65	160	+36	160
%	4.2%	4.6%	5.0%	+0.8%	5.0%
当期純利益	217	50	120	△97	120
%	7.4%	3.6%	3.8%	△3.6%	3.8%

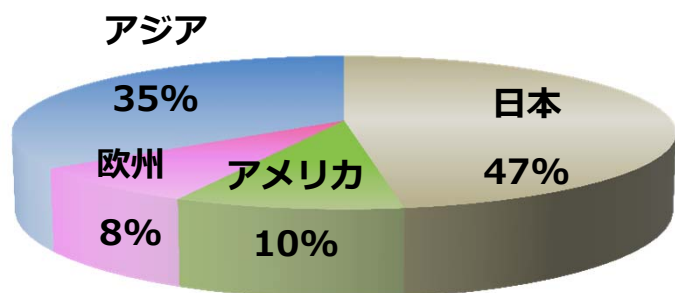
# 2015年度 見通し - 事業別売上高・営業利益 -

(億円)	売上高			営業利益		
	2014年度 実績	2015年度 見通し	対前年 増減	2014年度 実績	2015年度 見通し	対前年 増減
ウオッチ事業	1,590	1,700	+109	123	130	+ 6
電子デバイス事業	961	1,100	+138	18	50	+31
システムソリューション事業	211	240	+ 28	3	10	+ 6
計	2,763	3,040	+276	145	190	+44
その他	264	260	△ 4	6	5	△ 1
連結計	2,934	3,200	+265	116	160	+43

2015年度 為替感応度		
	USD	EUR
見込レート	110円	130円
売上高	約15億円	約1億円
営業利益	約2.5億円	約0.5億円

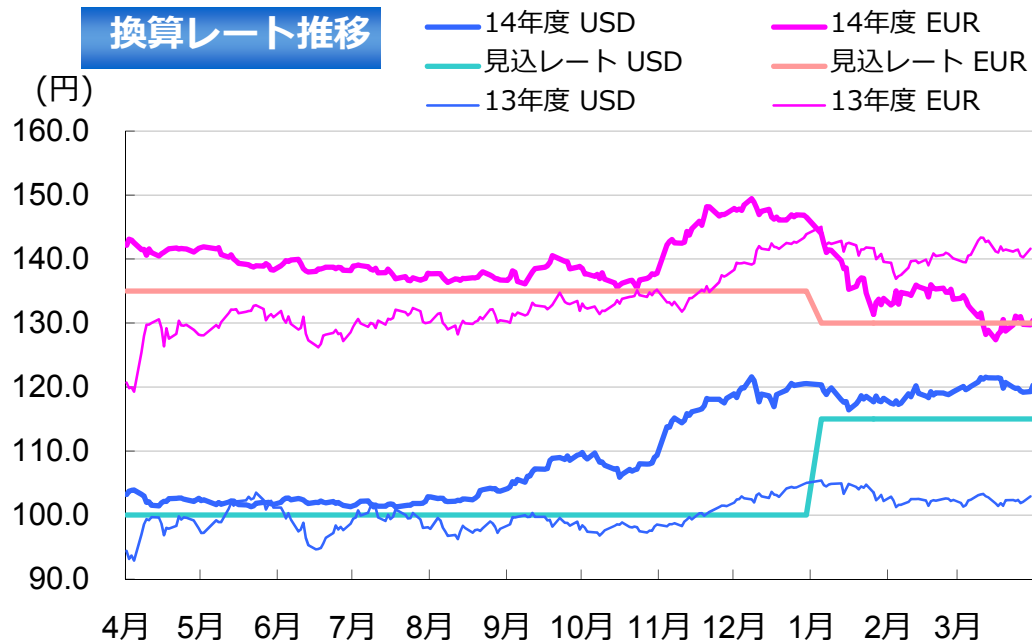
2014年度 実績						
		Q1	Q2	Q3	Q4	年平均
平均 レート	USD	102.1	103.8	114.3	119.1	109.8
	EUR	140.0	137.7	142.8	134.0	138.6
決算日 レート	USD	101.3	109.4	120.5	120.2	—
	EUR	138.2	138.8	146.5	130.4	—

## 地域別売上高比率



\* 2014年度実績値

## 換算レート推移



◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

# 参考

---



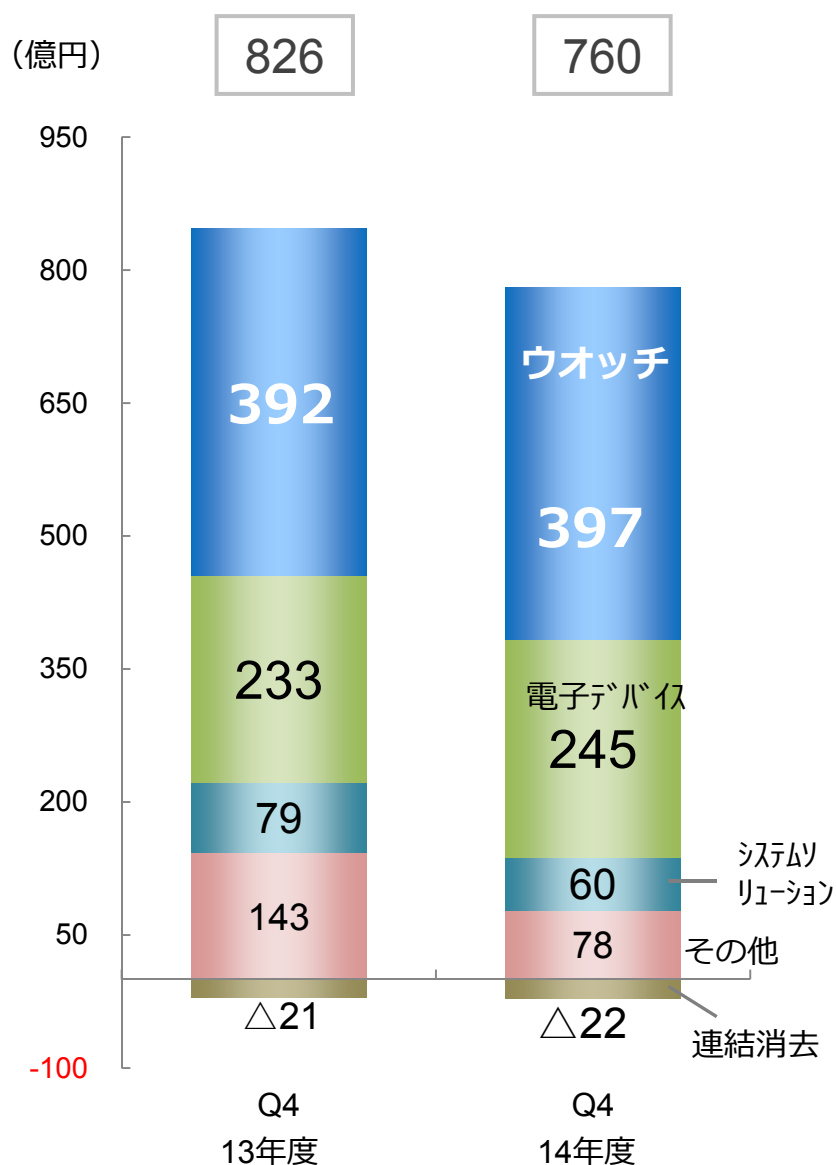
# 2014年度 損益 – 第4四半期 (期間 1月-3月) –

(億円)	2013年度 Q4	2014年度 Q4	増減			
			増減額	増減比		
売上高	826	760	△65	△8.0%	<b>売上高： 対前年 △65</b> 為替による影響 約+50 眼鏡事業 持分法会社化の影響 △70	
売上総利益	257	257	△0	△0.2%		
営業利益	6	3	△3	△48.3%	<b>営業利益： 対前年 △3</b> 売上総利益減少 △0 経費増加(広告宣伝費等) △2	
%	0.8%	0.4%	△0.4	—		
経常利益	△10	△2	+7	—	<b>経常利益： 対前年 +7</b> 営業利益減少 △3 支払利息減少 +3 為替差損益改善 +3 持分法投資損益 +0 その他営業外損益 +4	
%	△1.3%	△0.3%	+1.0	—		
税前利益	△67	△36	+31	—		
当期純利益	△45	△22	+23	—		
%	△5.5%	△2.9%	+2.6	—		
換算 レート	USD	102.7	119.1	+16.3	+15.9%	
	EUR	140.8	134.0	△6.8	△4.8%	

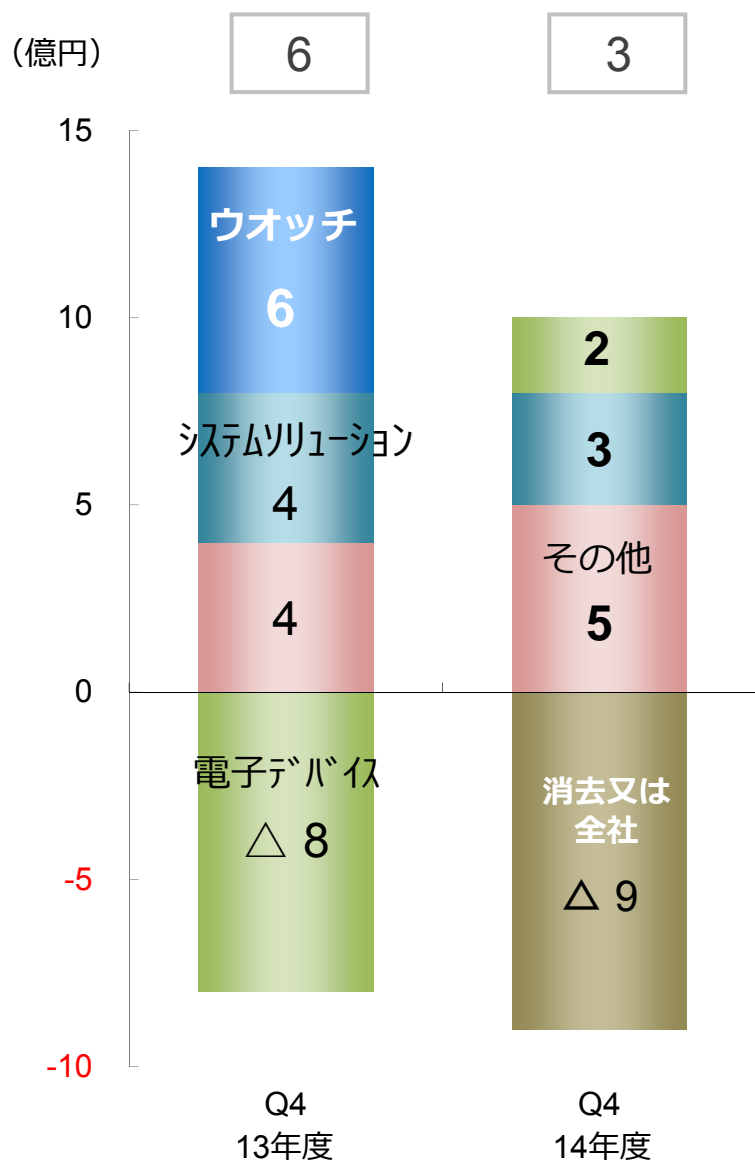
特別損益内容：	
特別利益	7
固定資産売却益	7
特別損失	△41
事業撤退損	△0
減損損失	△35
固定資産除却損	△5

# 事業別売上高 - 第4四半期 (期間 1月-3月) -



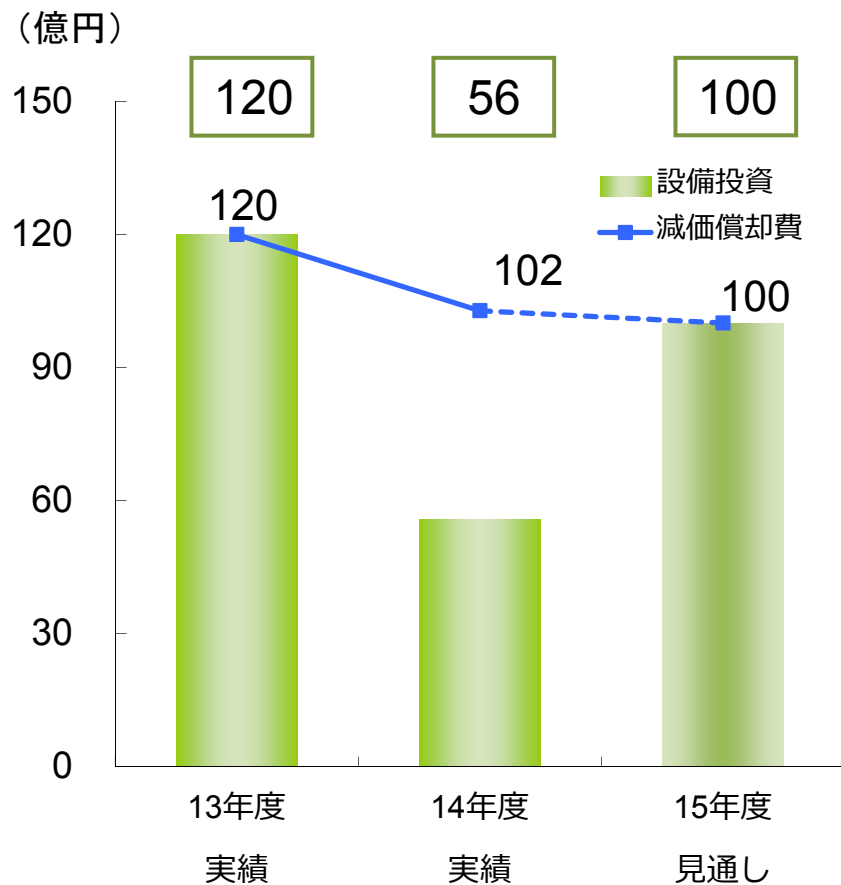
(億円)	売上高		
	2013年度 Q4	2014年度 Q4	増減
ウオッチ事業	392	397	+5
電子デバイス事業	233	245	+12
システムリノベーション事業	79	60	△18
計	704	704	△0
その他	143	78	△64
消去又は全社	△21	△22	△0
連結計	826	760	△65

# 事業別営業利益 – 第4四半期（期間 1月-3月） –

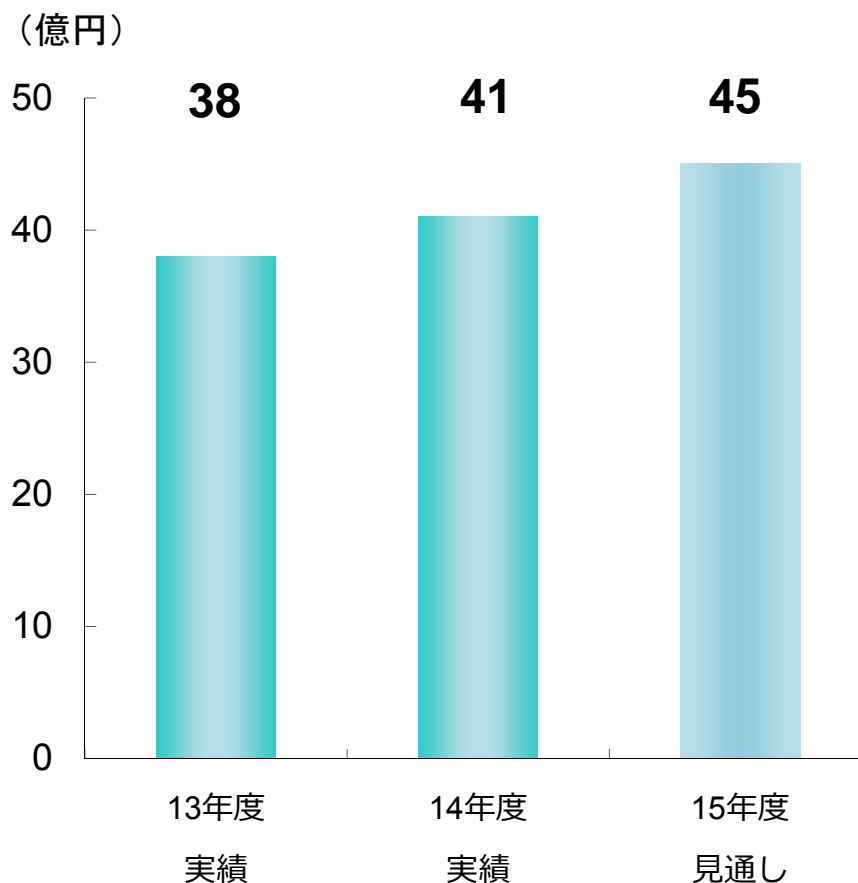


(億円)	営業利益		
	2013年度 Q4	2014年度 Q4	増減
ウオッチ事業	6	0	△5
電子デバイス事業	△8	2	+10
システムソリューション事業	4	3	△0
計	1	7	+5
その他	4	5	+1
消去又は全社	0	△9	△9
連結計	6	3	△3

## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



\* 2013年度の設備投資にはタイ洪水被害からの復旧分を含む。  
 \* 2014年度は設備投資からオペレーティングリースに変更となった投資があったことや、2015年度に投資時期が変更になった投資があったこと等により減少。

End

---